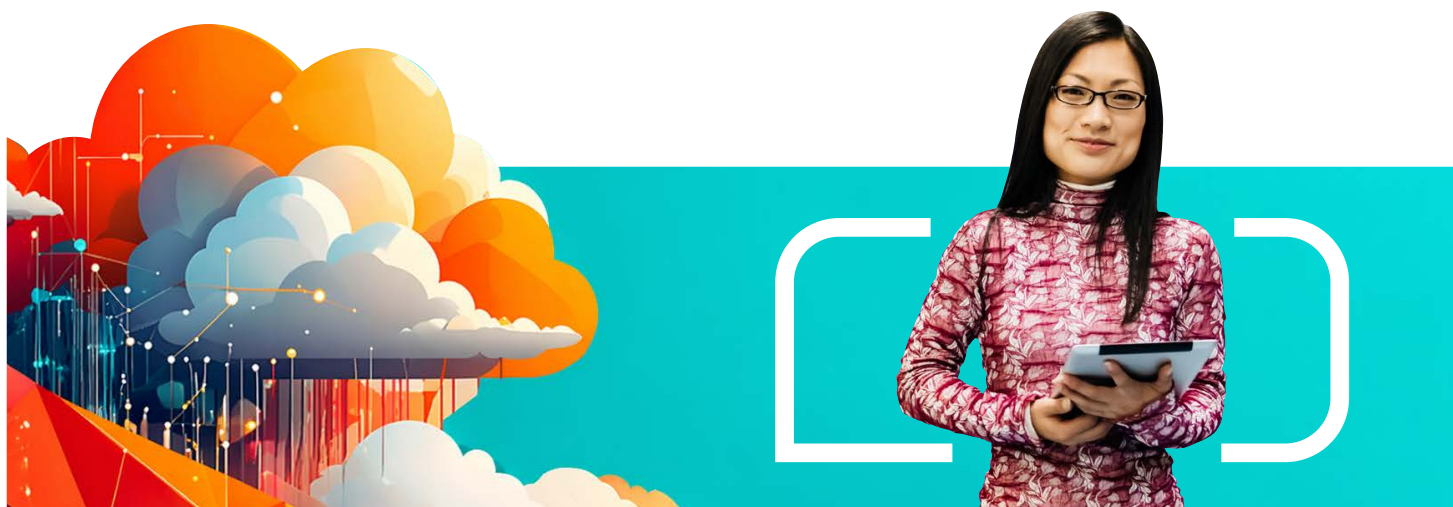




クラウドFinOpsを活用し、単なるコスト削減を超えてクラウドの価値を最大化

インフラの「見えない化」がもたらす莫大なコスト

現在のインフラが、知らないうちに収益性に悪影響を及ぼしてはいないでしょうか。複雑性は単なる障害物ではありません。莫大な資金流出の原因です。インフラの無秩序な拡大に歯止めをかけていなければ、資金を積極的に浪費しているのと同じです。毎月のクラウドの請求書を裏側まで見通すと、環境の断片化で生じた「シャドー資産」があります。そこではソフトウェア・ライセンスの重複や冗長な人員配置を通して、知らないうちに資本が流出しています。

ITの無秩序な拡大と過剰な人員配置

断片化した環境では、時間の経過とともに「シャドーIT」が生まれ、サイロ化した複数の異種クラウドごとに過剰に人員が割り当てられるようになります。

可視化の欠如

29%の組織が想定を上回る支出をしています¹。多くの組織が間接コストやSaaSの無秩序な拡大を可視化できていません。

硬直化した運用

多くの企業が「現状維持」に追われて積極的な最適化を行えず、リザーブド・インスタンスのようなコミットメントベースの割引を検討できていません。

¹ 2025年9月、Forrester Research, 「A Data-Driven View Of The Tools, Structures, And Practices Shaping IT Finance」

毎月のクラウドの請求書：目に見える部分

目に見えない実態

- SaaSの無秩序な拡大
- 間接的な人件費
- 無駄なリソース
- ライセンスの重複

ITの無秩序な拡大がもたらすコスト増



環境が拡大していくと、マルチクラウド、レガシーのオンプレミス環境、重複したツール、所有権の分散化など、企業に残される複雑な課題も増えていきます。複数のプラットフォームや運用モデルが時間の経過とともに蓄積していくのは組織ではよくあることですが、このことで、リソースの重複、意思決定の遅延、ガバナンスの不整合はさらに深刻化します。



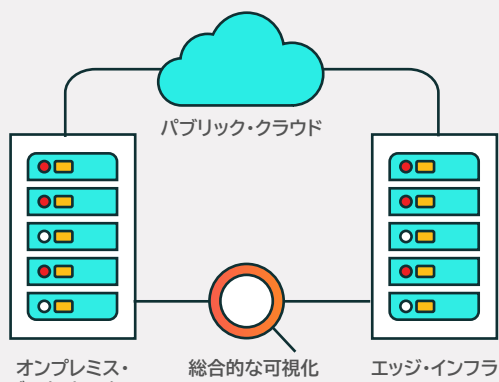
企業が生成AIで「実験」に動んでいる間も、予算は湯水のように消えています。今すぐFinOpsのガードレールを設けなければ、AIが加速装置になることはなく、制御を失った財務分裂反応装置にしかありません。GPUが原因のコストや従量課金モデルの使用量が一夜にして10倍に急増し、パイロット・プロジェクトが壊滅的な予算オーバーに陥る事態も十分に考えられます。

FinOps 2.0: ビジネス価値を軸とするアプローチへのシフト

先進的な企業の多くが、「費やしたコスト」から「提供した価値」へと問題意識をシフトしつつあります。

成熟した組織はFinOpsを戦略的ツールとして活用することで、守りの姿勢のコスト削減から、取引1件あたりのコストを正確に測定する、攻めの姿勢のユニット・エコノミクスへと転換し、ビジネスの成長を積極的に推進しています。

Operate (ビジネス価値)
Optimize (効率性)
Inform (可視化)



現在のハイブリッド環境では、資産全体を可視化しなければならない

大部分の企業はハイブリッド環境を運用していますが、オンプレミス、SaaS、コロケーションを含めずクラウドだけを最適化しても死角が生じてしまいます。総合的に可視化しなければ、1つの領域を最適化しながら別の領域で無駄や重複が拡大し続ける事態が生まれます。

真のクラウドFinOpsを実現するには、パブリック・クラウド、オンプレミス・データ・センター、エッジ・インフラのすべてを一元的に可視化できるビューが必要です。

成果にこだわるパートナーを選ぶ

見つけるべきは、技術移行と財務最適化を総合的に推進できるパートナーです。クラウド、オンプレミス、レガシー・インフラのすべてを可視化する「フルスタックの見える化」ツールを備えた、クラウドFinOpsの戦略的活用を支援できるパートナーを探してください。

アセスメント・ワークショップ

即時のコスト削減が可能な領域と、アーキテクチャの長期的な改善が見込める領域を突き止められる、「成果重視型」のワークショップを探してください。

マネージド・サービスのエコシステム

複雑な移行、バックアップ/ストレージ管理、コロケーションといった高負荷な作業を任せられるパートナーであることを確認してください。

- ハイブリッド可視化ツール
- マネージド移行 & ストレージ
- マネージド・バックアップ & コロケーション
- 直接コスト・間接コストの削減を重視



従来のベンダー選定ではなく、「次のステップへの展開を支えてくれる、成果重視のパートナーを選ぶ」ことが大切です。

Lumenは、お客様の環境を単に監視するのではなく、隅々まで把握いたします。クラウドの請求書に振り回されることなく、ビジネスの成長を加速させましょう。こちらがLumenの提案です。ハイブリッド・クラウド・インフラの管理をお任せいただいたお客様の直接コスト(クラウド支出)と間接コスト(運用の効率性)両方の削減を支援します。

クラウドFinOpsアセスメント・ワークショップのご相談と日程調整をご希望の方は、apac.mail@lumen.comまでお問い合わせください。

クラウドFinOpsサービスは、Lumen Technologiesが専門サービスとして提供するものであり、お客様および/または第三者から提供される情報およびデータの正確性、完全性、適時性への依存、ならびにお客様のクラウド環境およびツールの機能と制約など、固有の制限事項が適用されます。あらゆる所見、ベンチマーク、推奨事項、またはその他の成果物は、クラウド財務オペレーションに関する意思決定を支援するための一般的な情報提供のみを目的として提供されるものであり、財務、会計、税務、法律、または法規制に関する助言を構成するものではありません(また、そのような助言として依頼すべきものでもありません)。お客様は、お客様自身のクラウド支出に関する意思決定、財務報告、遵守義務、および統制について、引き続き単独で責任を負うものとします。また、クラウドFinOpsサービスの一環として提供されるどのような情報に基づいて行動する場合でも、事前に独自のデュー・デリジェンスを実施し、必要に応じて適切な専門アドバイザーに相談することが推奨されます。

Forresterの刊行物に含まれる情報は、あらゆる任意の時点でForresterが合理的に入手できる最善の情報源をForresterが収集、分析する取り組みに基づいています。意見はその時点での判断を反映したものであり、変更される可能性があります。このレポートは、インタラクティブ・モデル、フレームワーク、ツール、データ、アナリストによる助言へのアクセスを含む、Forresterが擁する広範なリソース群の一部です。

地域によっては一部提供されないサービスがあります。法人のお客様のみご利用いただけます。Lumenは、製品およびサービスの変更、中止、代替の製品およびサービスへの置き換え、サービス・エリアに応じた仕様変更を、独自の裁量により事前の通知なく行うことがあります。

本バージョンは参考目的で提供されています。内容に不一致がある場合は、英語版が優先されます。

©2026 Lumen Technologies. All Rights Reserved.

LUMEN